



「出港前報告制度」の導入に係るサービス・プロバイダー「ダガンネット社 (Dagang Net Technologies Sdn Bhd)」との接続契約の締結について

平成 25 年 8 月 29 日 (木)、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 (以下、「NACCS センター」という。) とサービス・プロバイダーのダガンネット社 (Dagang Net Technologies Sdn Bhd) (本社：マレーシア) は、我が国で平成 26 年 3 月からの導入が予定されている「出港前報告制度」に関し、当該制度の報告義務者である海外の船会社及び利用運送事業者 (NVOCC) が NACCS を用い、海外から日本国税関に対し電子的に報告を行う仕組みを整備するため、NACCS とサービス・プロバイダーのシステムを接続することについて、接続契約を締結いたしましたので、お知らせします。

NACCS センターにおいては、ダガンネット社を含め、合計 17 社 (海外 15 社、日本 2 社) との間で、海外からの電子的報告を行う仕組みを整備するための協力体制を構築しています。

今回の契約は、マレーシアに本社を置くサービス・プロバイダーとの初めての契約であり、東南アジア地域としては、シンガポール、フィリピンに次いで 3 番目の契約締結です。

■本件に関するお問合せ先： 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

〒212-0013 川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア西館 8 階

担当：企画部 (神例・荒巻)

E-mail: [afr-c@naccs.jp](mailto: afr-c@naccs.jp)

■NACCS センターは、「出港前報告制度掲示板」を開設し、同制度に関する全ての情報を一括して掲載しております。同掲示板には、当該制度の運用に関する情報のほか、サービス・プロバイダーとの接続契約の締結状況、世界主要都市における現地説明会の開催情報等についても掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.nacccenter.com/afr/indexj.html>

サービス・プロバイダー契約の締結について

1. ダガンネット社の概要

マレーシアの主要な電子商取引サービスプロバイダーであるダガンネット社は、輸出入者、貿易関係業者、流通業者間の国際貿易手続きを円滑化・効率化するために、ペーパーレスな電子的税関関連サービスの確立を先導してきました。

(www.dagangnet.com)

1989年の設立以来、ダガンネット社はマレーシアのナショナルシングルウィンドウ(www.mytradelink.gov.my)のオペレーターとして、生産者、輸出入者、フォワーダー、船舶代理店、ターミナル・オペレーター、銀行、港湾当局、許可発給機関、そして税関から成るトレーディングコミュニティ間の税関関連業務の電子処理や関税電子納付、電子データ取引を促進してきました。

2. ダガンネット社(Dagang Net Technologies Sdn Bhd)

代表取締役社長 Ms. Zulina Mohammed Salleh メッセージ

私たちは出港前報告制度における認定サービスプロバイダーとして、NACCSセンターと戦略的な地域協定を締結したことを嬉しく思っています。この協定は、越境貿易を推進させ発展させる過程において、顧客のためにより付加価値の高いサービスを提供しようと努力した結果です。

私たちは、NACCSセンターが私たちを協力者として認定してくれたことを喜ばしく思っています。この協力関係を結んだことは、マレーシアにおけるシングル・ウィンドウのオペレーターであり、また国の貿易円滑化のために電子商取引をするサービスプロバイダーの先駆者であるダガンネットにとって、賢明な選択でした。このことは、私たちの顧客が日本の出港前報告制度に従ってNACCSに貨物情報を報告する際に、大きなアドバンテージを創出するでしょう。

私たちはこの協力関係により、安全で確かな、そして迅速な貿易関連書類の電子的取引が可能となり、マレーシアと日本の貿易的結びつきがさらに強まると確信しています。

3. 写真



(注)

1. 左：ダガンネット社代表取締役社長 Ms. Zulina Mohammed Salleh
右：当社代表取締役社長 宮坂寿彦
2. ダガンネット社との契約署名は、第44回PAA (Pan-Asian e-Commerce Alliance : アジア地域における通関システムのプロバイダー11企業が加盟) 会合の機会を利用し、同会合の開催場所であるタイのパタヤマリオットホテルにて実施。